



# 市長からの手紙

## 38 包括管理委託

先日、政策研究大学院大学で行われた、「全国首長連携交流会」に参加しました。「地域の自立・持続可能性を考える～地域社会の総合的なマネジメント、人・知恵・場の連携～」というテーマのもとで、先進的な事例の発表を聞いたり、各自治体の取り組みを話し合ったり、大変勉強になりました。

その中で私は、社会インフラマネジメントについて話し合う部会に出席しました。今後、税収が伸び悩むなかで学校などの公共施設、または道路、橋などのインフラ（両者を合わせて社会インフラと言います）が大量に更新時期を迎えるという深刻な問題があります。それにどう対処していくかがこの部会のテーマです。

国は、社会インフラに係る基本的な計画を

策定し、それに基づき各自治体に「公共施設等総合管理計画」の策定を求めています。簡単に言えば、社会インフラを補修しながらできるだけ長期間使い続ける、需要の少ない公共施設は統廃合などにより施設全体の量を減らすことを計画的に行う、という考えです。

この部会の中で、府中市の市議会議員が発表していた同市の事例は、これとは違った方向からの取り組みで、インフラの管理をボランティアに任せたり、包括管理委託という委託方法をとるというものでした。特に、包括管理委託は、私にとって聞き慣れない言葉で興味を引きました。

内容は、府中駅周辺の「けやき並木通り周辺地区」を対象に試行的に行っている事業で、これまで別々の時期に別々の手続きで発注していた道路等の補修、清掃、街路樹の剪定などを、建設業者、清掃事業者、造園業者などで作る共同企業体に一括して発注するという方法です。

新しい発想として川越市でも大いに参考になりそうです。今は試行中とのことなので、数年後にこの取り組みの結果がどう出るか、注目したいと思います。

川越市長 川合善明

## 未来に向けて③ 公共施設の相互利用をご存じですか？

政策企画課 224-5503



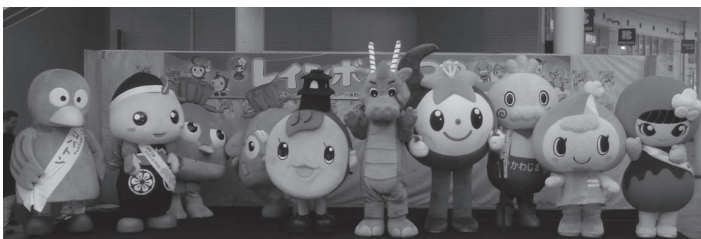
7市町の光の帯をイメージしたロゴ

埼玉県川越都市圏まちづくり協議会（通称：レインボー協議会）は、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町の4市3町で構成されています。

レインボー（虹）は、7市町が一体となって連携・協力しながらひとつの都市圏として発展していくことを目指すもので、7つの光の帯が未来への懸け橋になることを意味しています。

同協議会では、7市町が合同で行うイベントのほか、図書館などの公共施設の相互利用を行っています。公共施設の相互利用では、構成市町の住民の方が、レインボー圏域内の対象施設をその市町の住民と同じ料金で使用したり、市民や町民の利用に限られる施設を利用したりすることができ、夏休みなど、近隣へお出かけの際には、圏域内の公共施設を利用してみませんか。

なお、対象施設の一覧は、市ホームページまたは市民センター、南連絡所にある「公共施設相互利用ガイド」で確認できます。



レインボー協議会の構成市町のゆるキャラ。とコバトン



大東地区体育振興会では、自治会、子どもサポート委員会、交通安全協会等と協力して「大東ふれあいマラソン&ウォークソン大会」を毎年1月に開催しています。大東地区に在住、在勤、在学の800人以上が一堂に会するこの大会は、温かみあふれる手作りの大会です。

種目はさまざまな人が参加できるようにマラソン(10km・4km)とウォークソン(5km)があります。力強く10kmを駆け抜ける人もいれば、親子で4kmに挑戦する人、近所の友人とウォークソンに参加する人もいます。そろいのユニホームの団もいれば、保護者たちに混じって、学校の先生の姿も見られます。参加者は沿道からの大きな声援を受けゴールを目指します。

出場の手続き、コース設営、先導、記録、タイムスケジュールの管理、表彰、参加者に振る舞う豚汁作りなど役割分担がされており、大会の全てが地域の皆さんの協力で成り立っています。

大会を通じて、日常生活ではふれあうことの少ない、世代や町内を越えた交流により、地域の親睦、連帯感が深まります。大東地区では、このような事業を継続しながら、笑顔が見える関係を築き、住民が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

## 市民とともにつくる

### 安全で安心なまち川越

防災危機管理課 ☎224-5554

#### 知っていますか？自主防災組織

自主防災組織とは、地域住民が連携し防災活動を行う組織です。大規模災害時、消防などだけで被害の拡大を防ぐには限界があります。そんなとき、自主防災組織は、地域の被害を最小限にとどめる役割を担っています。

日頃は、防災知識の普及啓発、防災訓練や安全点検の実施、スコップや発電機などの防災資機材の備蓄整備といった活動に取り組んでいます。災害時に

は、初期救出救護および消火活動、避難所の開設運営、住民の避難誘導の協力などに従事します。

現在、市内には196組織、世帯数換算で約7割をカバーする自主防災組織が結成されています。

しかし大規模災害に備えて、さらに多くの組織を結成し、地域の防災力を高める必要があります。まずは、イベントに炊き出しなどの防災活動を取り入れてみてはいかがでしょうか。

あなた自身とまちを守るために、防災活動へ積極的に参加し、ともに「災害に強いまち、安全で安心なまち川越」をつくりましょう。



## ごみ処理とびっくす

### 「避ける！分ける！過剰包装

資源循環推進課 ☎239-6267

お菓子を食べようとしたら、箱の外に包装紙とビニールフィルム。箱の中には、真空パックの袋。それから個包装の紙を剥がす。お菓子をたどり着くまでに、手間がかかることはありませんか？  
見た目や衛生上の観点から一定の包装は必要ですが、過剰な包装は、資材の浪費やごみの増加につながります。「避ける！分ける！」を合言葉に過剰包装を避け、包装紙などは分別して、ごみを減らしましょう。

● バラ売りや包装が少ない商品を積極的に選ぶ！

● 紙類・その他プラスチック製容器包装を正しく分別し、資源としてリサイクルする！

また、マイバックの活用でレジ袋や紙袋を減らすこともできます。ごみの減量に、皆様のご協力をお願いします。



つばさ館で販売しているオリジナルマイバック

### 「川越市ごみ分別アプリ」配信中！

ごみの分け方など、ごみ出しに関する情報を手軽に確認できる無料アプリです。各アプリ配信サイトで検索するか、下記QRコードからインストールページに接続できます。  
\* 通信費用を除き、無料です。

● iPhone 版



● Android 版

